

# 全国道路基盤地図等データベースについて

---

# 全国道路基盤地図等データベースの概要

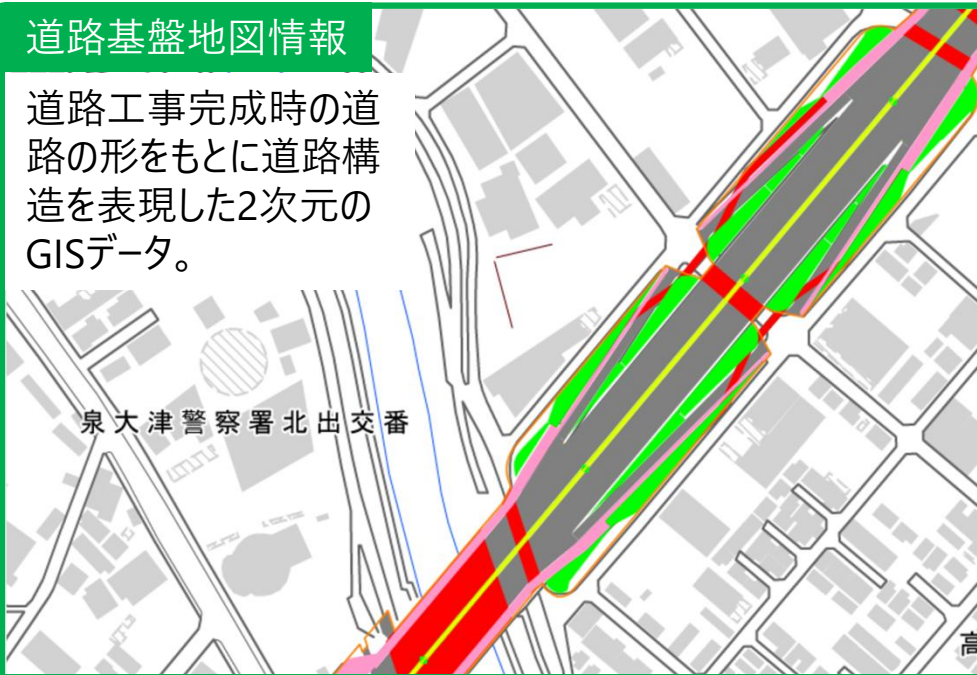
- 全国の直轄国道等において膨大な道路基盤地図情報や道路台帳附図が蓄積。
- 大縮尺の道路基盤地図等を一元的に活用できる環境を構築：全国道路基盤地図等データベース  
（道路基盤地図情報：高速道路約10割、直轄国道約4割、道路台帳附図：直轄国道約10割）
- 全国道路基盤地図等データベースは令和6年5月に公開開始：webブラウザからの閲覧等が可能。加えてAPI（Application Programming Interface）を公開

## 全国道路基盤地図等データベース

令和6年5月 公開開始

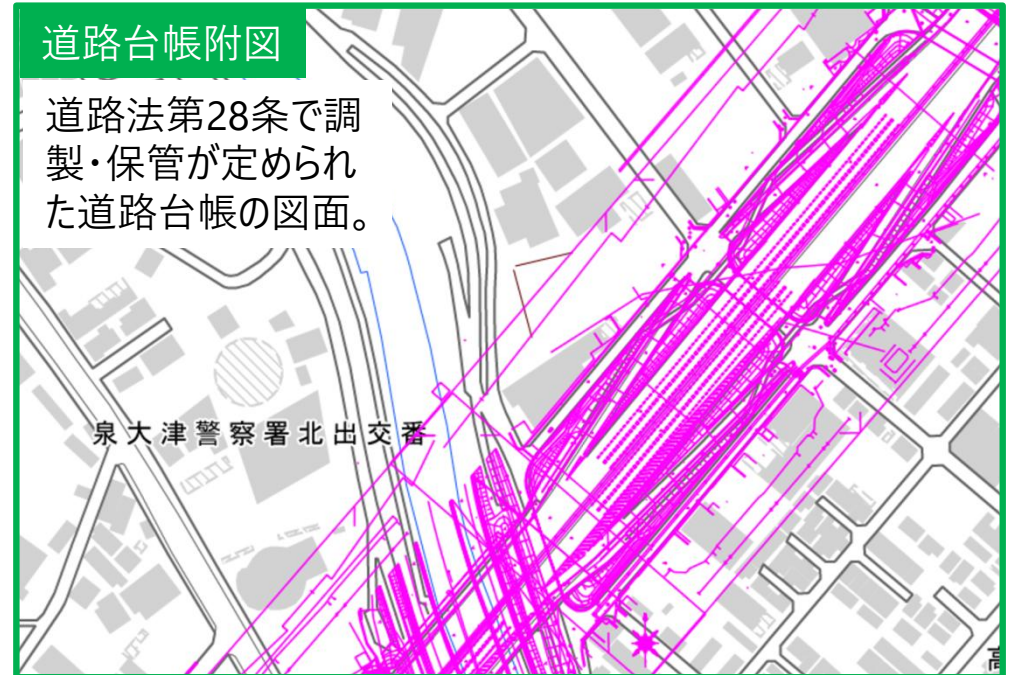
### 道路基盤地図情報

道路工事完成時の道路の形をもとに道路構造を表現した2次元のGISデータ。



### 道路台帳附図

道路法第28条で調製・保管が定められた道路台帳の図面。





# 全国道路基盤地図等データベースの概要

国土地理院地図

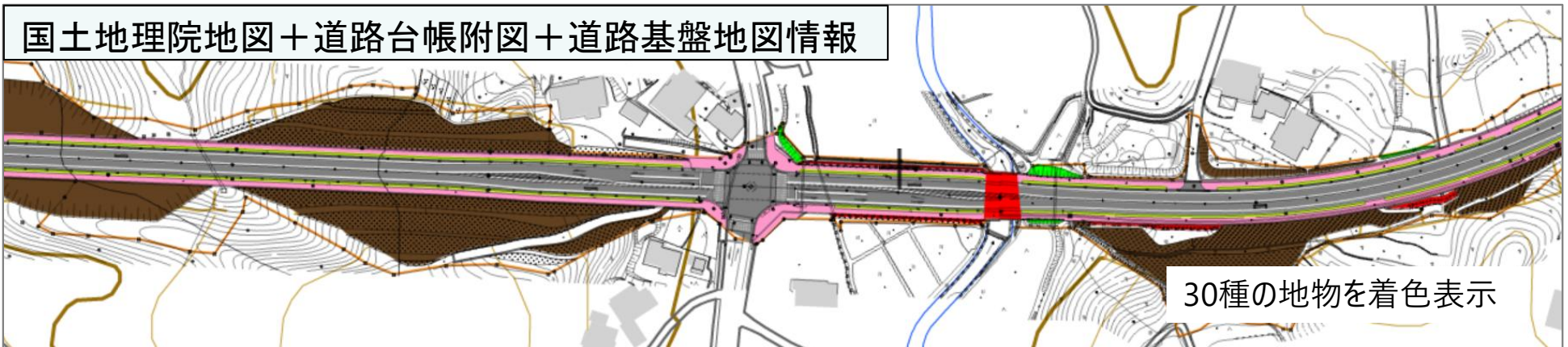


国土地理院地図＋道路台帳附図



大縮尺の道路平面図

国土地理院地図＋道路台帳附図＋道路基盤地図情報



30種の地物を着色表示



# 全国道路基盤地図等データベースの画面

全国道路基盤地図等データベース

例： 劔岳 / 金沢市木ノ新保町 / 35度0分0秒 135度0分0秒 / 35.00 135.00

距離標検索

ログアウト

公開リスト表示

初期表示

印刷

共有

グリッド表示

ツール

?

標準地図

淡色地図

白地図

English

写真

地図の種類

トップ

道路台帳附図（作図区間）

距離標

道路台帳附図

道路基盤地図情報（国道）

道路基盤地図情報（高速）

年代別の写真

表示する道路基盤地図等を選択

基準点・地磁気・地殻変動

災害伝承・避難場所

その他

選択中の地図

リセット

道路基盤地図情報（国道）トンネル

道路基盤地図情報（国道）橋梁

道路基盤地図情報（国道）シェルター

道路基盤地図情報（国道）シェッド

道路基盤地図情報（国道）ボックスカルバート

道路基盤地図情報（国道）擁壁

地名、緯度経度、路線番号、距離標から地図検索が可能

距離標(100m標)を表示

道路台帳附図（作図区間）赤線をクリックすると区間や図面の情報をポップアップ

地理院地図のツール機能により、緯度経度情報付きの各種データを重ね合わせ表示することが可能

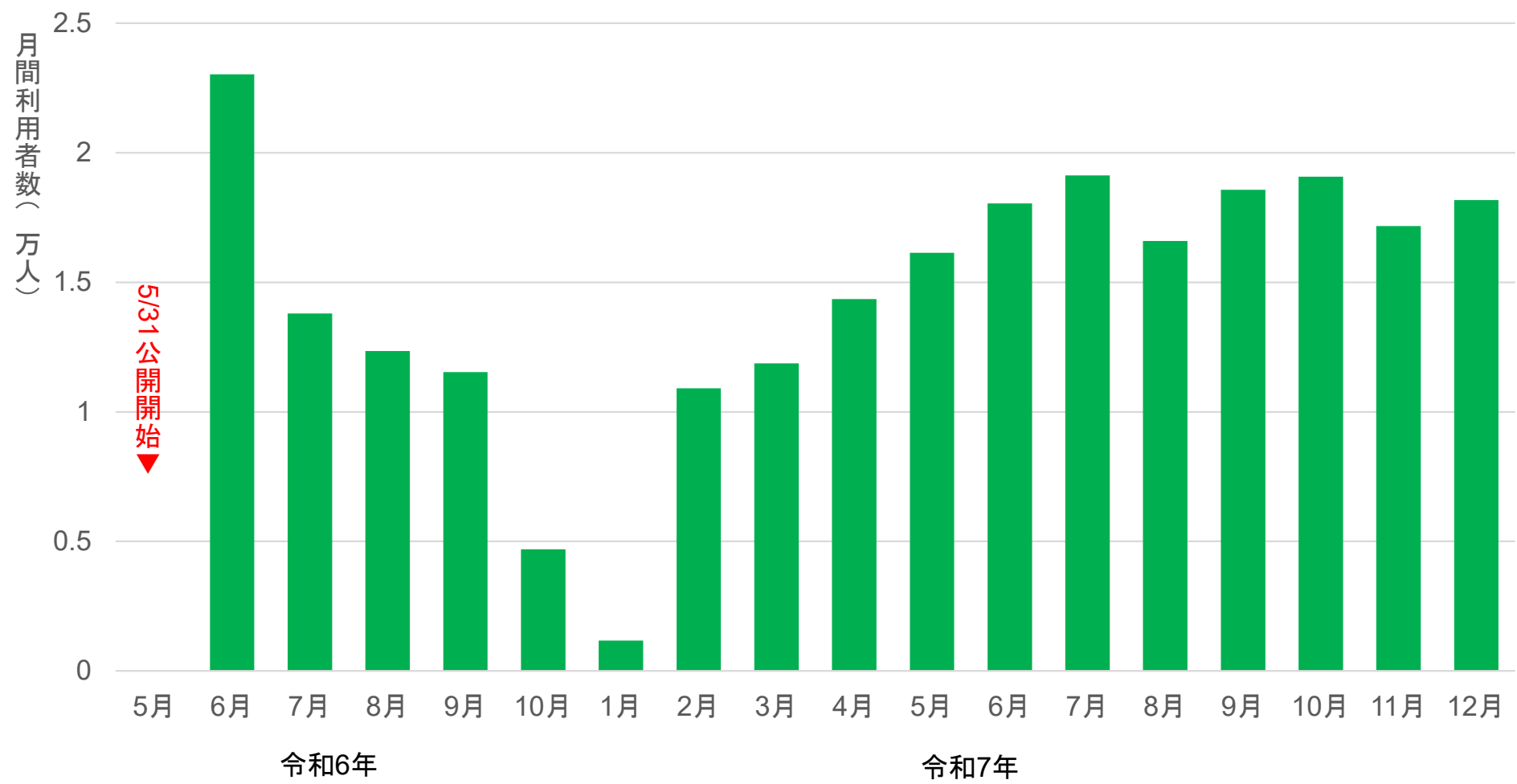
事務所	長野国道
路線番号(起点)	0019
路線枝番(起点)	261
路線名称(起点)	国道19号_（長野南BP）
路線番号(終点)	
路線枝番(終点)	
路線名称(終点)	
現旧区分	1
距離標(起点)	265.2
距離標(終点)	265.6
ファイル名	¥837000長野国道事務所¥20231106¥0019261国道19号（長野南BP）¥R19_長野南BP_017_265.3kp-265.6
最終補正年度	202309
CAD PDF	

ポップアップ上のリンクからファイルをダウンロード可能  
※CADのダウンロードリンクは道路管理者ログイン後に表示

# 全国道路基盤地図等データベースの閲覧状況

令和6年5月31日に公開開始してから、月平均約1.6万人が利用

【月間の利用者数】

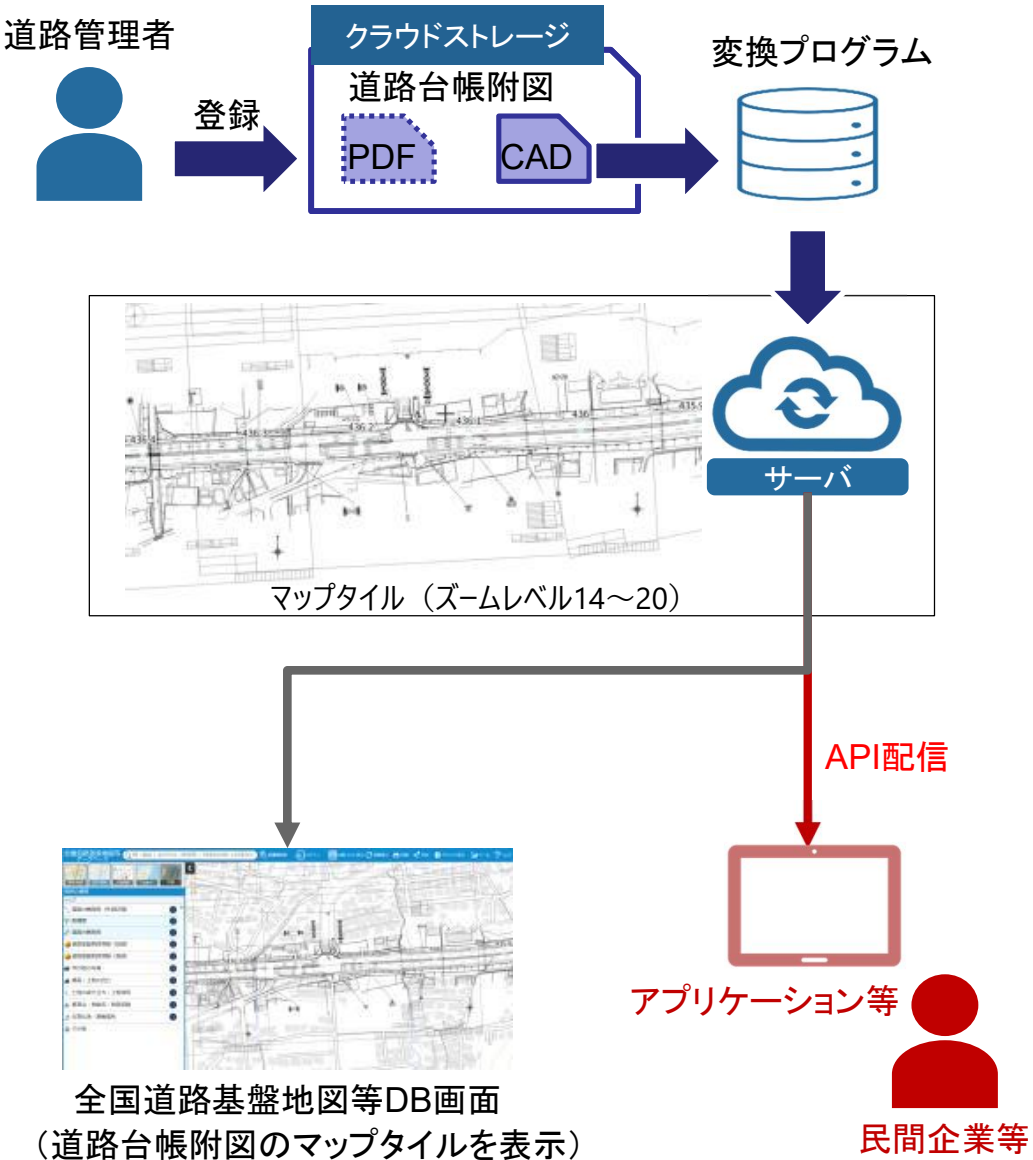


※月間利用者数は、24時間ごとに表示される利用規約画面の「同意する」がクリックされた回数  
※一部の道路台帳附図に個人情報の削除漏れが確認されたことから、令和6年10月8日～令和7年1月30日まで公開を停止  
※月平均の利用者数は公開停止期間を除いて算出

# 道路台帳附図マップタイルのAPI配信

○ データベースに登録された道路台帳附図のCADファイルを変換して作成するマップタイルについて、利用を希望する方に有料でAPI配信（民間企業等の14者に配信中（令和8年1月現在））

## 【API提供までのながれ】



## 【民間企業等の活用例】

- インフラや地域の情報を社内共有する業務支援GISシステム



- 道路台帳附図上に道路法面や排水施設の点検対象施設と過去の点検結果等を表示するシステムで現地の点検作業に利用
- 道路台帳附図上に施設や機器等の配置図を作成するGISソフトウェアで道路使用許可申請に利用

# 全国道路基盤地図等データベースの整備及び管理運営について

課題

道路基盤地図等のデータを継続的に蓄積・変換し持続的に管理するとともに、公開・閲覧するデータベースの整備及び管理運営が可能な体制が必要。



対応方針

道路基盤地図等データベースの整備及び管理運営を行うための機関について公募・選定

< 道路基盤地図等データベースの整備及び管理運営業務（案） > ※令和 1 0 年度末までの 3 年間を予定

■整備の内容

- 道路基盤地図等の蓄積、変換、登録、改版管理および配信等に必要なシステムを整備する。

⇒ 費用は、国土交通省が負担

■管理運営の内容

- 道路基盤地図等を継続的に整備し、利用者が閲覧・取得できるよう適切に管理運営する。

⇒ 費用は、データベースにデータを登録する道路管理者からの登録料及びデータ利用者からの利用料で負担（※閲覧は無料）



公平性・公益性の観点から、社会インフラに係る技術の調査・研究を目的とする  
一般社団法人及び一般財団法人又は公益社団法人及び公益財団法人等



# データベースの整備及び管理運営機関の応募要件(案)

## < 事業期間 >

- 事業期間は令和 1 1 年 3 月 3 1 日までとする。

## < 応募書類の提出者・配置予定管理技術者に必要とされる要件 >

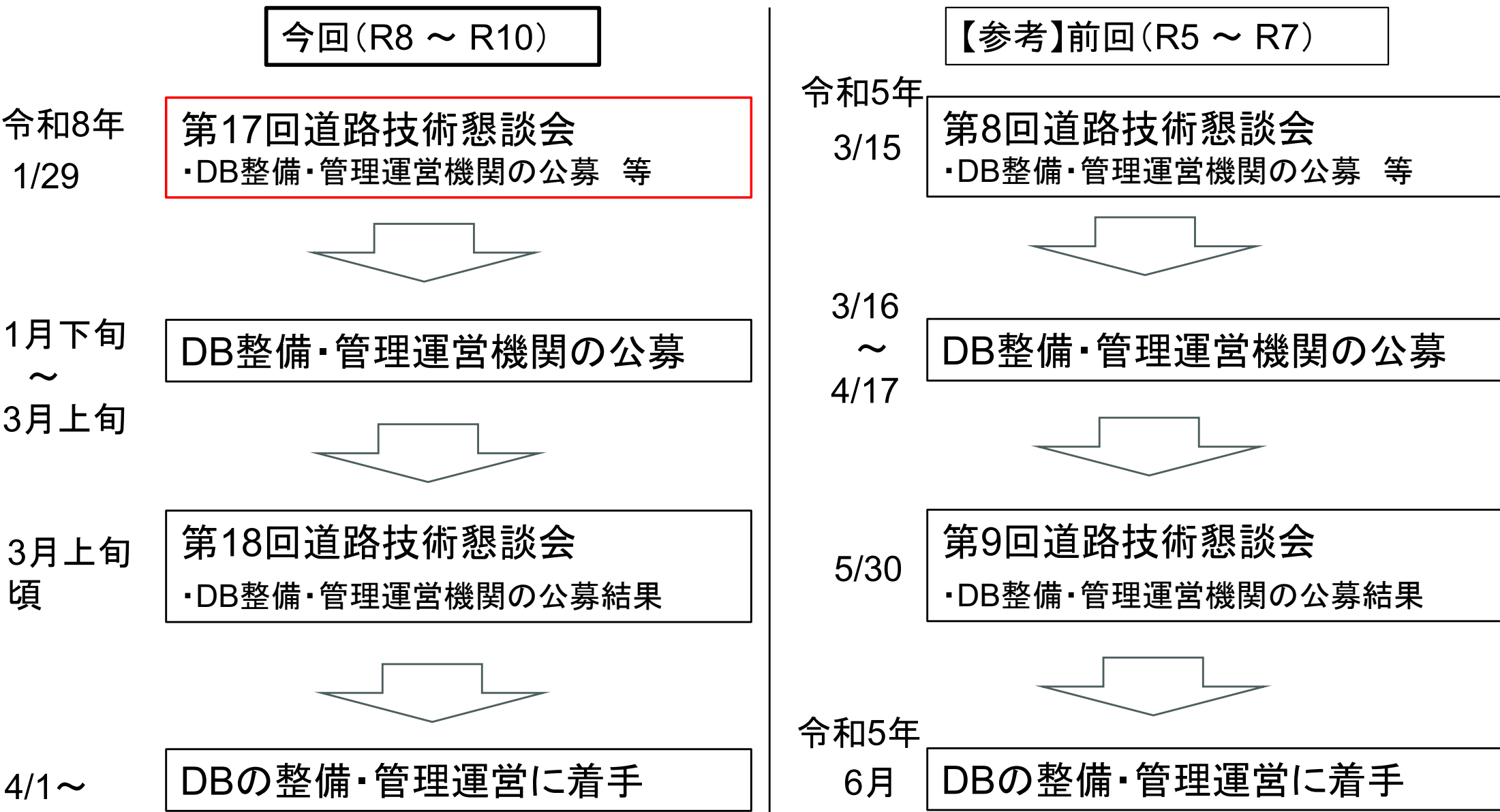
- 公平性・公益性の観点から、社会インフラに係る技術の調査・研究を目的とする一般社団法人及び一般財団法人又は公益社団法人及び公益財団法人等であり、道路基盤地図等の整備及び管理運営に係る実施体制を組むことができること。
- 地図システムに関する業務実績（平成 2 8 年度以降）を 1 件以上有すること。
- 資格（技術士、R C C M、工学博士、土木学会認定技術者）と業務実績を有する技術者を配置できること。

## < 道路基盤地図等データベースの整備・管理運営に関する要件 >

- 道路基盤地図等データベースの整備・管理運営に必要な諸費用の範囲で、データベースにデータを登録する道路管理者からの登録料及びデータの利用者からの利用料を設定することとし、利益を生じさせないこと。
- 登録料及び利用料は、国土交通省と協議のうえ決定すること。
- 道路基盤地図等データベースの整備・管理運営に関する収支状況について、他の経費と区分を行い、本事業のみの収支について収支報告書を作成し、国土交通省に提出すること。
- データベースのデータは、データ登録者（道路管理者）が合意した範囲で公開すること。
- データベースのデータは、管理運営機関が自ら利用する場合も含め、全ての利用者に対して、公平な利用条件とすること。
- 令和 1 0 年度末まで責任をもって管理運営を実施すること。



# 全国道路基盤地図等データベースの整備・管理運営団体の公募の流れ



# 全国道路基盤地図等データベース利用状況(アンケート)

## ○ アンケート概要

- DBの利用者を対象にアンケート調査を実施
- アンケート形式：WEB
- アンケート実施期間：R7.10.1(水)～R7.10.31(金)
- アンケート項目
  - ・ 所属
  - ・ DB利用目的
  - ・ DB利用頻度
  - ・ DB利用有無による作業時間
  - ・ DB利用により一番感じた効果

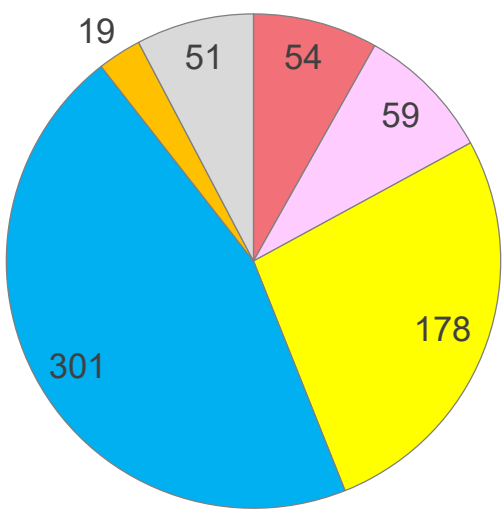
＜DBトップ画面でのアンケート調査協力依頼＞



## ○ アンケート回答率

- ログイン数：19,077  
(左記の利用規約画面が表示され、「同意する」がクリックされた回数)
- 回答数：662
- 回答率：3.5%

## ○ 属性別回答者数



- 国土交通省
- 国交省以外の公共団体
- 不動産業関係者
- 建設業関係者
- 大学・研究機関
- その他

# 全国道路基盤地図等データベース利用状況(アンケート)

- 道路管理者（国交省）が一番感じた効果は、「地図検索による附図閲覧の効率化」が最も多く、次に「道路台帳附図作成・更新時間の短縮」が多かった。
- また、道路台帳附図の供覧事務が解消し、問い合わせへの対応も効率化している意見があった。

## 一番感じた効果

一番感じた効果	回答数・比率
地図検索による 附図閲覧の 効率化	<div><div></div></div> 22 (37%)
道路台帳附図 作成・更新時間 の短縮	<div><div></div></div> 15(25%)
地図付き資料 作成の効率化	<div><div></div></div> 8(13%)
道路台帳附図 供覧事務の解消	<div><div></div></div> 8(13%)
道路台帳附図 と各種データの 重畳表示	<div><div></div></div> 6(10%)
国道事務所の 判別	<div><div></div></div> 1(2%)

## 自由意見

道路台帳附図閲覧効率化	<ul style="list-style-type: none"><li>舗装損傷通報箇所や緊急工事箇所等の平面図上での確認がWeb地図上で行うことができるため、フォルダ・ファイル名で対象附図を探すより確認時間が短縮し、速やかな対応につなげることができる。</li><li>道路管理者内で道路の箇所を伝えるには距離標の値(KP)を用いている。</li><li>個々の附図ファイルを開かなくてもWeb地図上で距離標の位置が確認できるようになり、資料作成にかかる時間が短縮された。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>道路台帳附図のCADファイルは全てDBに保存することで、更新対象附図の元データファイルを探し回る必要がなくなった。</li><li>データベースには最終更新年月が表示されるため、最新のデータを迷うことなく確認できるようになった。</li></ul>
附図作成時間の短縮	<ul style="list-style-type: none"><li>道路管理作業報告などの位置図付きの報告資料を作成する時間が1箇所あたり5～10分削減した</li></ul>

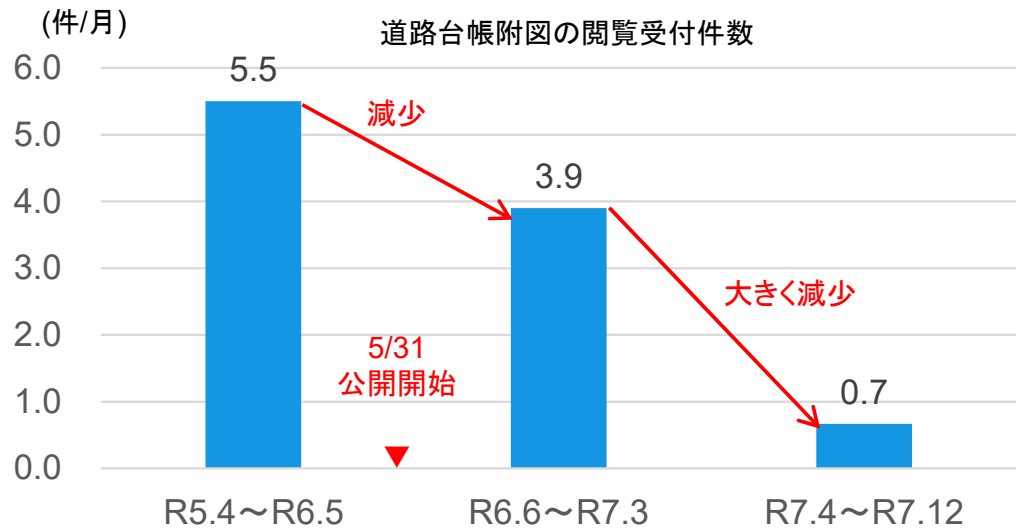
道路台帳附図の供覧事務の解消	<ul style="list-style-type: none"><li>DB公開前は道路台帳附図の閲覧申請は1日5件程度あったが、DB公開後は月数件にまで減少。1件あたり5分から10分の対応時間は、DB案内にかわったため1分未満になった。</li><li>電話での問い合わせは、DBの案内のみでできるようになった。</li><li>不動産会社や占有事業者などの企業の方へのDB周知が進んだと思われ来庁される方はほぼいなくなった。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>国土地理院地図の過去の地形と道路台帳附図を重畳表示させることで、冠水箇所の課題が見える化できた。</li></ul>



# 道路台帳附図の閲覧状況

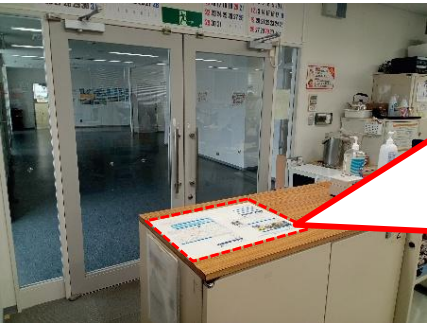
- 全国基盤地図等DBの公開により、道路台帳附図の閲覧のために来庁される方は減少傾向。
- 来庁された方へはホームページで閲覧が可能であることを案内するなど、DBを周知する取組を実施。

## 道路台帳附図閲覧受付件数 (A事務所の例)



## DBの周知の取組

- 道路台帳附図の閲覧や申請のために来庁された方や電話で問い合わせされた方にデータベースを案内
- 事務所の窓口にてデータベースの案内を掲示
- 事務所ホームページの道路台帳附図を案内するページに、データベースのWeb上で誰でも閲覧可能であることを案内



(事務所窓口での案内)

道路台帳閲覧 (PDF)方法

出張所紹介 | 工事情報 | トピックス | ボランティア | 申請・届出

TOP > 申請・届出 > 道路台帳の閲覧・交付

道路台帳附図の閲覧・写しの提供 **News!**

■WEB上での閲覧について (詳細はこちらを参照)

令和6年5月31日から、「全国道路基盤地図等データベース」の一般公開により、全国の直轄国道について、道路台帳附図がどなたでも無料で閲覧することが出来るようになりました。PDFでのダウンロードも可能です。

ご自宅や会社で閲覧が出来、当出張所まで来所する手間が省けます。是非、ご利用ください。

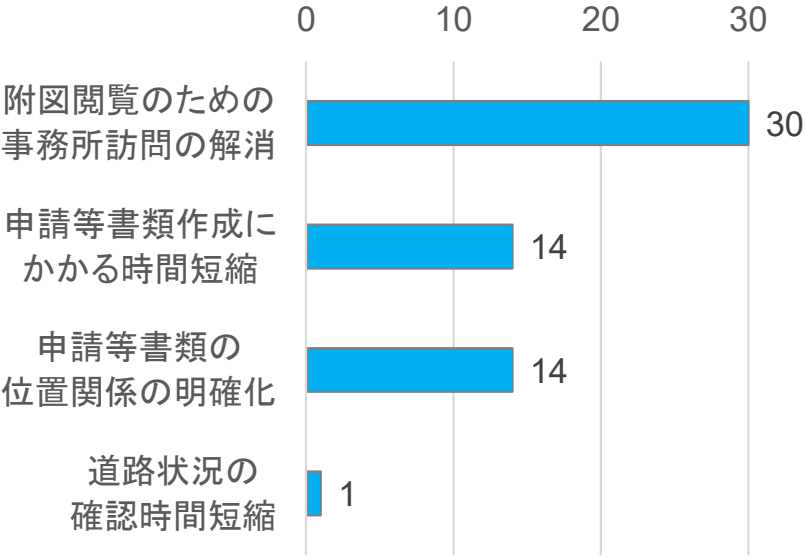
閲覧用ホームページは以下のとおりです。  
<https://road-basemap.mlit.go.jp/JapanRoadMapWeb/>

(ホームページでの案内)

# 全国道路基盤地図等データベース利用状況(アンケート)

- 地方公共団体が一番感じた効果は、「（直轄国道の） 附図閲覧のための事務所訪問の解消」が最も多かった。
- 利用しやすいのほか、自団体でも公開に取り組んでいきたいとの意見がある。

## 一番感じた効果



## 自由意見

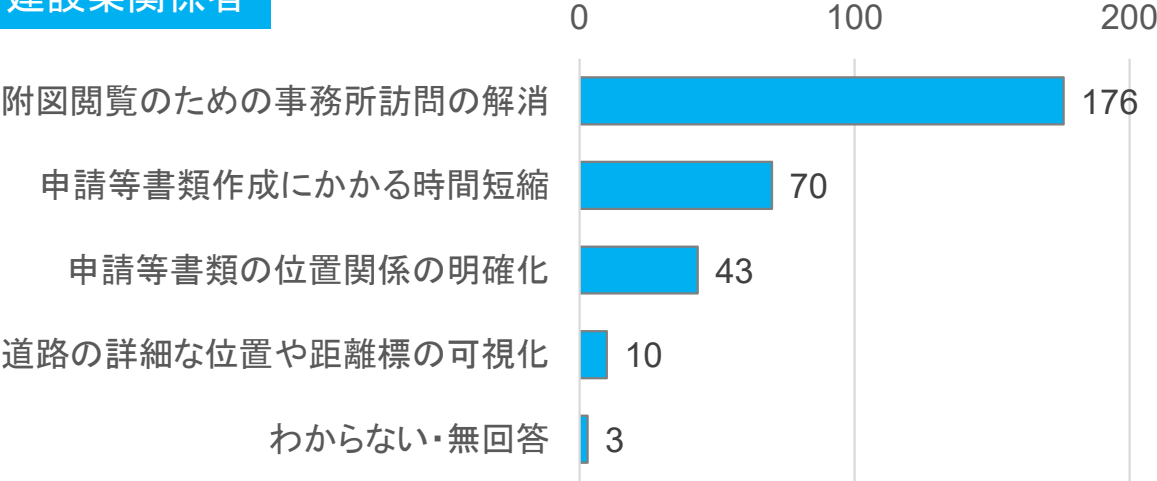
- 道路の詳細のほか周辺の地形等、現地状況が一目で確認できるため、道路施設を調査する際に使いやすい。
- 道路幅員はよく調べるので、国道の幅員がわかるのは助かります。
- 公開型GISの導入を検討中。作成したデータが公開できるようであればデータベースでの公開も検討していきたい。
- データ公開の有用性は強く感じており、当団体でも同様のことができれば良いと思っている。

# 全国道路基盤地図等データベース利用状況(アンケート)

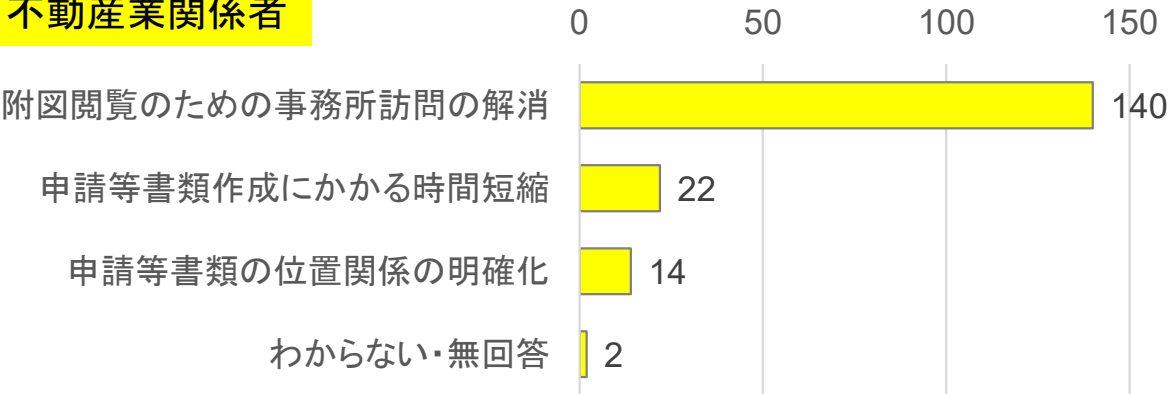
○ 建設業関係者・不動産業関係者ともに、「附図閲覧のための事務所訪問の解消」が最も多い。

## 一番感じた効果

### 建設業関係者



### 不動産業関係者



## 自由意見

- 道路台帳附図の図面提供まで2～3日かかっていたのが、ネットで閲覧・入手可能になった
- 台帳附図作成業務時に事務所で内容確認する必要があったが、その手間が省略できた
- 国道境界範囲の確認のほか、協議や手続きにかかる申請の説明資料として利用し説明が円滑になった
- 地理院地図とgoogle mapで距離標を探していたときより、資料作成時間が短縮された
- 道路台帳附図に地理院地図の過去の地形等を重畳表示して読み取った地域課題をもとに技術提案した
- 道路一時占用や地下埋設物などの協議の際に位置関係が明確になった

- 2～3時間かけて管轄事務所を訪問する必要がなくなった
- 以前は道路台帳附図閲覧のため1時間程度要していたのが解消された
- 国道事務所に電話で前面道路幅員を聞いていたのが、ネットでわかるようになり効率的になった
- ネットで調査が完結し、業務時間の短縮になった



# 全国道路基盤地図等データベース利用状況(アンケート)

- 建設業関係者は、「道路幅員の確認」と「現地状況確認（道路幅員以外）」で利用されている割合が高く、不動産業関係者では、「道路幅員の確認」で利用されている割合が高い。
- いずれの作業においても、DB公開前後で作業時間の短縮が図られ、これまで1時間以上要していた作業時間の大幅な短縮が見られる。

回答者属性	建設業関係者	不動産業関係者
<div>DBの目的別利用頻度</div> <div><div><div>毎日</div><div>週数回</div><div>月数回</div><div>年数回</div><div>未利用</div></div></div>	<div>● 道路幅員の確認、現地状況確認に利用されている割合が高い</div> <div><div>0%20%40%60%80%100%</div><div><div>道路幅員の確認</div><div>現地状況確認(道路幅員以外)</div><div>申請等書類の背景図の入手</div></div><div><div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div></div></div>	<div>● 道路幅員の確認に利用されている割合が最も高い</div> <div><div>0%20%40%60%80%100%</div><div><div>道路幅員の確認</div><div>現地状況確認(道路幅員以外)</div><div>申請等書類の背景図の入手</div></div><div><div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div></div></div>
<div>DB公開前後の作業時間調査結果</div> <div><div><div>数分未満</div><div>数分～10数分</div><div>10数分～1時間</div><div>1時間以上</div></div></div>	<div>● 現地状況の確認に要していた作業時間が短縮</div> <div><div>0%20%40%60%80%100%</div><div><div>DB公開前の作業時間</div><div>DB公開後の作業時間</div></div><div><div><div></div><div></div><div></div><div></div></div></div></div>	<div>● 道路幅員の確認に要していた作業時間が短縮</div> <div><div>0%20%40%60%80%100%</div><div><div>DB公開前の作業時間</div><div>DB公開後の作業時間</div></div><div><div><div></div><div></div><div></div><div></div></div></div></div>

# 今後の取組み

- 地方公共団体管理道路の道路台帳附図の登録推進を図るほか、すでに地方公共団体が公開している道路台帳附図サイトとリンクさせる機能を追加する事を検討。

## 【地方公共団体附図の表示機能追加のイメージ】

「公開リンク」ボタンを追加

表示範囲内の地方公共団体が公開する道路台帳附図サイトへのリンクを表示

面状に附図を作成する市区町村に対応するため、作図範囲(面)をクリックすると附図ファイルへのリンクを開く機能を追加

(表示内容)

地方公共団体が公開する道路台帳附図Webページ

DBに登録した、または地方公共団体が公開中の道路台帳附図ファイル

事務所・団体	補正年月	種類	リンク
■■市	202403	平面図	PDF

公開リストを表示